

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AN348／文学講義 118 (Lectures on Literature 118)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	ドイツ中世の文学・文化		
担当者名 (Instructor)	村瀬 天出夫(MURASE AMADEO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	GRL3800	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	文学部生以外は抽選科目で登録すること。		

授業の目標 (Course Objectives)

ドイツ中世盛期の女性神秘家たちとその「幻視文学 (Visionsliteratur)」を考察する。

The students will learn the “Visionsliteratur (vision literature)” composed by female mystics in the German High Middle Ages.

授業の内容 (Course Contents)

講義形式で行う。ヒルデガルト・フォン・ビンゲン(1098－1179)やメヒティルト・フォン・マグデブルク(1207頃－1282頃)など中世盛期の女性神秘家たちを中心に、文学史的ジャンルとしての「幻視」(ヴィジオ visio)の社会的・文化的機能を検討する。そのためにドイツ中世文化における「神秘思想」(Mystik)を文学史的・ドイツ語史的・キリスト教史的・知識論的観点から解説する。

Students will learn early modern academic revolution Paracelsianism in German speaking areas organized by 16th century doctor Paracelsus and his supporters. Focusing on mystics in the High Middle Ages, e.g. Hildegard von Bingen (1098－1179) and Mechthild von Magdeburg (ca. 1207－ca.1282), students will learn the “visio (vision)” as literary category and its socio-cultural functions.

授業計画 (Course Schedule)

1. ドイツ中世文学・文化概略1
2. ドイツ中世文学・文化概略2
3. ドイツ中世文学・文化概略3
4. 中世盛期の女性神秘家たち
5. ヒルデガルト・フォン・ビンゲン (Hildegard von Bingen)
6. メヒティルト・フォン・マグデブルク (Mechthild von Magdeburg)
7. 「神秘思想」1: 認識論的概念としての「神秘・ミュステイク」の文化的意味
8. 「神秘思想」2: 文学的・ドイツ語史の意味
9. 「幻視文学」1: 「幻視・ヴィジオ」の文学史の意味
10. 「幻視文学」2: 知識論の意味
11. 「幻視文学」3: キリスト教史の意味
12. 「幻視文学」4: 女性神秘家たち
13. 受容と展望: 中世末期の「ドイツ神秘主義」(Deutsche Mystik)へ
14. まとめとふりかえり

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

配布されるテキストを事前に読んでおくこと。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

最終テスト(Final Test)(40%) / リアクションペーパーの内容を基準とする授業参加度(60%)
無断で授業を欠席した場合、3回の欠席をもって D 評価とする。

テキスト (Textbooks)

授業時に配布する。

参考文献 (Readings)

授業時に随時指示する。

その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

授業時では毎回リアクションペーパーに疑問・感想等を書いてもらいます。そして、それをもとにしたフィードバックも行っていきます。

す。積極的な授業参加を期待しています。

注意事項 (Notice)